

鹿児島県離島振興協議会御中

平成 26 年 (2014) 2 月 14 日

鹿児島国際大学教授 野中哲照

### アイランドキャンパス 2013 報告書・提言書

- 事業名 〈硫黄島熊野〉の整備についての提言まとめと現地説明会の開催
- 目的 交流人口の拡大を図るための観光振興の方策について
- 実施場所 硫黄島 (鹿児島郡三島村)
- 実施期間 平成 25 年 12 月 7 日 (土) ~ 8 日 (日)
- 実施機関 鹿児島国際大学国際文化学部国際文化学科 野中ゼミナール
- (住所) 鹿児島県鹿児島市坂之上 8-34-1
- (電話) 099-261-3211
- (FAX) 099-261-3299
- (Eメール) nonaka@int.iuk.ac.jp
- (教官名) 野中哲照 (専攻) 日本古典文学
- 参加人数 教授 1 名 学生 14 名 (うち大学院生 1 名) 計 15 名
- 協力者 三島村役場総務課地球科学研究専門職員 大岩根 尚氏
- 事業内容 『平家物語』に登場する俊寛らが硫黄島で実際に熊野三山詣でをしていた痕跡が発見され、また俊寛らの居住地も明らかになった。〈硫黄島熊野〉の発見が、硫黄島にとっての新たな、そして強力な観光資源になることは間違いない。三島村ではジオパークの認定に向けて整備を進めている。ジオパーク事業では、現地ガイドの養成が必要とされている。よって本企画は、島の方々に〈硫黄島熊野〉とは何なのかをわかりやすく解説することを目的とする。具体的には、現地で大人向けの説明会、小中学生向けの説明会を開催する。
- 概要 (事前学習) 9 月~10 月に延慶本『平家物語』の硫黄島に関する部分について学ぶ (学生への講義)。
- (事前準備) 大人向けの説明会用にはパワーポイントを、小中学生向けには紙芝居を、それぞれ中心として、部分的に詳細な解説を加える。15 名のゼミ生を 3 人ずつ 5 つの班に分けて、それぞれの作業を分担する (分担は別記)。
- (実施) 12 月 7 日 (土) 17 時~18 時 硫黄島・三島総合開発センターにて大人向けの説明会。参加者約 25 名。大学生の未熟なプレゼンテーションでありながら、出席者の方々はとても真剣に聞いていただき、質問も出るほどであった。

12月8日(日)8時30分～9時20分 硫黄島・三島小中学校集会室において小中学生向けの説明会。参加者約15名。2名の児童・生徒から質問が出て、最後に児童・生徒を代表して中学三年生男子からお礼の言葉を頂戴した。大学生も感激していた。

## 旅 程

### 【1日目—12月7日(土)】

8:30 集合  
9:30 鹿児島出航—13:15 硫黄島着  
13:30—現地調査(1)—16:30 [坂元温泉～平家之城～大谷～俊寛堂]  
17:00—18:00 現地説明会①大人向け (三島開発センターにて)  
18:30 宿舎着  
19:00 夕食・入浴

### 【2日目—12月8日(日)】

6:00 起床  
6:15—現地調査(2)—6:55  
[天授の板碑～応永の墓～那智の滝～熊野神社～黒木御所]  
7:00 朝食 8:30—9:20 現地説明会②子ども向け (三島小中学校にて)  
10:10 硫黄島出航—(竹島寄港 10:45～11:00)—14:00 鹿児島着 着後解散

提 言 三島村役場(総務課)や三島村教育委員会への観光化に向けて、別紙(エクセル文書)のと通りの具体的提言を行う。〈硫黄島熊野〉の整備計画である。村の観光振興・定住促進に貢献することを最終目標としている。

謝 辞 このたびのアイランドキャンパス事業の実施にあたっては、柿木正敏教育長以下三島村教育委員会、柏木博之校長以下三島小中学校の教職員の方々の全面的なご協力を得た。また、佐藤央隆氏、大岩根 尚氏、樋渡俊一硫黄島出張所長をはじめとして三島村役場の職員の方々のご支援をいただいた。篤く御礼申し上げたい。

## 班分けと担当

担当プロジェクト	メンバー(学年)
指導教授	ノナカ テンシユウ 野中 哲照
ティーチング・アシスタント	カミムラ *上村 まい (M1)
ヤスヨリ 康頼物語の紙芝居  ※小中学生向け説明会の進行役を兼務	ゲンカワ *源川 みつき (3年)
	メグリダリダ サキ *巡 田 早希 (3年)
	ナカダ ケンタ 中田 健太 (2年)
硫黄島熊野ルートマップ	イクシア カナミ *郁島 奏海 (3年)
	マツコ バ リミウコ *松木場 涼子 (3年)
	ハラグチ ヒサシ 原口 久 (2年)
俊寛堂マップ	ナミヒラ マユコ *波平 真由子 (3年)
	モトムラ コウキ 本村 洸稀 (3年)
	サエキ アキカ *佐伯 綾香 (2年)
説明会用パワーポイント  ※大人向け説明会の進行役を兼務	ソノダ マミ *菌田 麻実 (3年)
	ウエハラ ルナ *上原 瑠菜 (3年)
	ナカハラ ケイスケ 中原 圭佑 (2年)
ウータン サワ 大谷の沢マップ	イケゾエ チヨ *池添 千世 (3年)
	カワノ タクヤ 河野 拓矢 (3年)
	フジイ アミ *藤井 愛美 (2年)

\*女子

三島村役場への具体的提言(硫黄島熊野三山めぐり 整備計画)

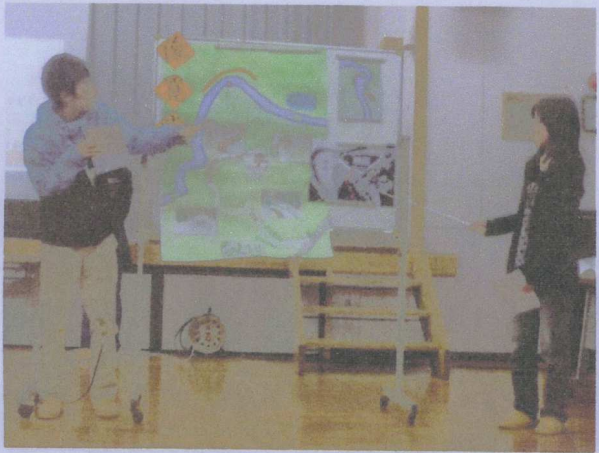
2014.01.09

地区	番号	名称	設置場所	内容	必要性	緊急度 ●◎○△	経費見込 (素人判断)
東 温 泉 付 近	1	那智の滝・展望台A(ウッドデッキ)	東温泉の手前、急坂の上部	滝の下部が尾根でさえぎられるところが良い。和歌山の那智と同じ。見晴らし的な高さ必要。	緊急。これがないと熊野三山めぐりが成立せず。	◎	100万円
	2	那智の滝・説明版A	同上	硫黄島の那智の滝と和歌山の那智の滝の写真を並べて、いかに似ているかを解説。	同上	◎	20万円
	3	那智の滝・展望台B(ウッドデッキ)	急坂の下部、東温泉の直近、岩場	滝を正面から見られるところが良い。	将来的にはほしい。雨の日の滝めあての観光客は喜ぶ。	△	100万円
	4	那智の滝・説明版B	同上		同上	△	20万円
	5	東温泉トイレ	東温泉のそば	熊野三山めぐりが定着すれば東温泉近くのトイレの必要性はますます高まる。	将来的にはほしい。	△	200万円
俊 寛 堂 付 近	6	御祈大明神・石塔	俊寛堂の北の長浜川の屈曲点の河川敷	『三国名勝図会』に俊寛堂の旧称は御祈大明神で、場所も河川敷であったと記されている。	この場所こそ熊野本宮らしい。石塔設置は将来に託すとしても何らかの目印は緊急にほしい。	○	200万円 (暫定的には5万円のものでも)
	7	御祈大明神・説明版	同上	熊野川の屈曲と長浜川の屈曲の写真を並べて、いかに似ているかを解説。	同上	○	20万円
	8	俊寛堂—御祈大明神歩道	俊寛堂から御祈大明神までの道50m	草刈、開削、整地。雑草に悩まされず、アスファルトでもない自然に近い舗道。運動公園にあるような。	長浜川の川原を徒歩でさかのぼることはできない。高さ3mのダムがあるので。道が必要。	○	200万円
	9	俊寛堂境内の新しい説明版	俊寛堂境内	俊寛堂のもとの位置は長浜川の河川敷で、かつてはそこに石塔があった。名称は御祈大明神であった。3人が帰洛のことを祈った。	上記の3つがすぐには難しいだろうから、せめて「この北50mの河川敷に御祈大明神があり、それが本宮」という説明は必要。	◎	20万円
10	俊寛堂入口の新しい説明版	俊寛堂入口	村道から俊寛堂へと下ってゆく道は、本家熊野と同じ時計回りのカーブを描いている。両者の写真を並べる。	上記の説明版と同時に設置したほうが効果的。熊野と似ていることを説明するために。	◎	20万円	
大 谷 の 沢 付 近	11	大谷の沢の道の整備	大谷の沢、海岸から車道まで500m	竹の刈り出し。ぐらついている石を安定させ、高い段の間に中型の石を詰めて歩きやすくするなど。階段を付けると人工的になるし保守整備も大変になるので、石の積み直し程度の整備を。	三人の居住地というアピール度は大きい。この道の整備ができると、「康頼 大願成就ウォーク」のようなイベントができる。	○	500万円
	12	大谷への入り口付近の駐車場	大谷入り口のブイの付近。	車3台分。ブイの地点と、沢道の終点との中間地点にできればなおよい。	将来的にはほしい。	△	100万円
	13	大谷入り口・説明版	同上	ここから下に降りたところが、3人の居住地。	沢道の整備は数年かかるとしても、とりあえず大谷入り口の説明版だけはぜひとも必要。	◎	20万円
	14	大谷海岸・説明版	大谷の海岸	3人がここに住んだ。延慶本『平家』の紹介。巨岩の間で俊寛が泣いていた。崖から岩が転がり落ちた。	沢道は整備できなくても、ここだけはまず必要。	◎	20万円
	15	大谷の沢道・説明版1	大谷の沢道	胸突き八丁、広河原、なげき広場などと地名を付ける。500mの沢道に5本程度必要。	11番の沢道の整備と同じ時に。	○	20万円
	16	大谷の沢道・説明版2	大谷の沢道	胸突き八丁、広河原、なげき広場などと地名を付ける。500mの沢道に5本程度必要。	11番の沢道の整備と同じ時に。	○	20万円
	17	大谷の沢道・説明版3	大谷の沢道	胸突き八丁、広河原、なげき広場などと地名を付ける。500mの沢道に5本程度必要。	11番の沢道の整備と同じ時に。	○	20万円
	18	大谷の沢道・説明版4	大谷の沢道	胸突き八丁、広河原、なげき広場などと地名を付ける。500mの沢道に5本程度必要。	11番の沢道の整備と同じ時に。	○	20万円
	19	大谷の沢道・説明版5	大谷の沢道	胸突き八丁、広河原、なげき広場などと地名を付ける。500mの沢道に5本程度必要。	11番の沢道の整備と同じ時に。	○	20万円
	20	大谷出口・説明版	沢道と県道が出会った地点。	この地点から沢を下って海まで行ける。古代の道であり、康頼・成経が熊野三山めぐりに使った道。	11番の沢道ができる前にも。	◎	20万円
港 付 近	21	熊野神社・説明版	熊野神社境内	硫黄島の熊野神社は和歌山の熊野新宮に相当する。本宮と新宮の位置関係が、俊寛堂と熊野神社の位置関係とよく似ている。	すぐにもほしい。	◎	20万円
	22	大願成就の島・熊野三山めぐりルートマップ、の説明版	港、さるくあたり	延慶本『平家物語』によってこれまで未解明だったことがわかった。3人の居住地や、和歌山の熊野三山を硫黄島に勧請したことが事実であったことが判明した。3人は大谷—御祈大明神—熊野神社—那智の滝の順に巡拝したとみられる。	いろはの「い」。まずは、これ。	◎	50万円
	23	硫黄島熊野三山とは、の説明版	港、さるくあたり	縁結び、商売繁盛など、全国にはご利益をうたっている神社が数多くあるが、歴史上の文献によってご利益が証明されているのはここだけ。お参りした康頼・成経は帰洛し、俊寛は残留した。	いろはの「い」。まずは、これ。	◎	50万円

宣 伝 戦 略 品	24	のぼり10本程度	大谷入り口、俊寛堂入り口、熊野神社入り口、那智の滝展望台、さるくあたりに各2本ずつ	「硫黄島熊野三山めぐり」「大願成就の島」「硫黄島本宮」「硫黄島新宮」「硫黄島那智」「康頼・俊寛・成経居住地」	今年度予算の残額で買えるならすぐにも。	●	10万円
	25	熊野牛王符(ごおうふ)3種類	さるくで販売か。1枚500円。3枚で1500円。	本宮、新宮、那智の3種類。木版刷り。照国神社様にお祓いをしていただき、初穂料を収める。	自治体がおふだを販売するわけにはいかないの、NPOが仲介し、自治体に売り上げを寄付する形にするか。	◎	初期投資 10万円
	26	おみやげ用ミニのぼり	さるくで販売か。1本500円。	本家の熊野でも販売している。	硫黄島の思い出を次の人に広げてゆくためには、話しのタネがぜひとも必要。	◎	初期投資 10万円
	27	キーホルダー	同上。300円。	「大願成就」「硫黄島熊野三山めぐり」と刻印したキーホルダー。	同上	○	初期投資 10万円
	28	携帯ストラップ	同上。300円。	大願成就を果たした「康頼くん」のストラップ。	同上	○	初期投資 10万円
	29	リーフレット	同上。無料配布。	野中ゼミ作成の原版を(有)トップコピーから買い取っていただきたい。	今年度予算の残額で買えるならすぐにも。	●	5万円
	30	巡礼服+巡礼笠(レンタル用)	さるくでレンタル。1日500円。杖も貸す	巡礼服の背中に「硫黄島熊野」「大願成就」の文字。笠にも。若い女性の好むピンク、ブルー、イエローなども準備する。	現代人はカタチから入る人が多い。	○	初期投資 20万円
	31	巡礼服+巡礼笠(販売用)	さるくで販売。巡礼服は3000円。笠は1000円。	同上	現代人はカタチから入る人が多い。	○	初期投資 20万円
32	「硫黄島熊野三山めぐり」のウェブページ作成	パソコン上	充実した解説、道順の案内、実際に大願成就を達成したひとのブログ風のページなど	ウェブページが完成すれば必ずブームに火が付く。	●	50万円	

※大谷の沢道の整備や俊寛堂の道の整備など高額な経費が予想されるものは、日本財団などの外部資金に頼ることも考えられる。

薩摩硫黄島の熊野三山 説明会(大人向け)



薩摩硫黄島の熊野三山 説明会(小中学生向け)

